##	区分 対学生 本講義のの記方法を 1. 子ど: 2. 子ど: 3. 子ど: 4. 5. スライドを用し 毎授業内の演習 第1回 子ど: 第3回 保予 だ・ 第5回 保護・ 第6回 保護・ 第7回 特別:	幼児教育学科 2年生 科目 は、「発達心理学」(を身につけることでで もの発達と学習につ もの発達過程に応じ もの育ちや学びを支いた講義を行う。毎日 習時に学生へフィー	の内容を踏まえ ある。 いて理解する た関わり方の如 えるために必引	学期区分 授業形態 科目の主題 たうえで、子 科目の到達目 必要性を理解す 授業方法 付を行い、学生 課題等へのか	家教員担当科目) 後期 演習 施行規則に定める和 直 とどもの発達と学習を 目標 する を身につける	単位数	1	担当 業 免 1 実人 ①誠実性・真摯性	形態 件格 成果と でいた (人力) (2) を様性・協働性 〇	2. 唐 all 3 知識·技能	単 選 (大 <u>創知</u> (大 <u>創知</u> (大 <u>創知</u> (大 <u>創知</u> (本 <u>銀</u> (大 <u>創</u> (本 <u>銀</u> (大 <u>創</u> (本 <u>銀</u> (大 <u>創</u> (本 <u>銀</u> (大 <u>創</u> (本 <u>銀</u> (大 <u>1</u> (独 ・	実意も (金)			
	学生 本講義のま類は 1. 子ど: 2. 子ど: 3. 子ど: 4. 5. スライドを用し 毎授業内の演習 明知 第1回 子ど: 第3回 保育 第4回 子ど: 第5回 保護: 第6回 保護:	2年生 科目 は、「発達心理学」(を身につけることではを身につけることではます。 おの発達と学習につけることではます。 おの発達過程に応じまりの育ちや学びを支いた講義を行う。毎月	の内容を踏まえ ある。 いて理解する た関わり方の如 えるために必引	授業形態 科目の主題 さたうえで、子 科目の到達目 必要性を理解す 要な知識や技能 授業方法 対を行い、学生 課題等への本	演習 施行規則に定める和	H目区分又は事工 ごどのように援助	質等	卒 発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要件 資格 学 尽人引力 ②多様性・協働性 〇	2. 唐 all 3 知識·技能	選 保育: (大) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	#	実意 生意 生意 力 の 就 業 力 ・ 貢献 力			
対目の連翹	具体的な方法を 1. 子ど: 2. 子ど: 3. 子ど: 4. 5. 本子 がを用し 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど: 第3回 保育: 第4回 子ど: 第5回 保護: 第6回 保護:	は、「発達心理学」(を身につけることでは、「発達と学習につけることでは、これの発達過程に応じまの発達過程に応じまれている。	ある。 いて理解する た関わり方の如 えるために必引	科目の主題 さたうえで、子 科目の到達目 必要性を理解す 要な知識や技能 授業方法 対を行い、学生 課題等への本	をどもの発達と学習を 目標 ける とを身につける	さどのように援助		免許要・1 1減実性・真摯性	資件 学 尽人力 2 多様性・協働性 〇	2. 唐 all 3 知識·技能	保 (大) (本)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実意 生意 生意 力 の 就 業 力 ・ 貢献 力			
報信の主題 表現の主題 表現の正面 表現の理面 表現	具体的な方法を 1. 子ど: 2. 子ど: 3. 子ど: 4. 5. 本子 がを用し 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど: 第3回 保育: 第4回 子ど: 第5回 保護: 第6回 保護:	を身につけることでは もの発達と学習についまの発達過程に応じまの発達過程に応じまりできません。 もの育ちや学びを支いた講義を行う。毎日 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	ある。 いて理解する た関わり方の如 えるために必引	えたうえで、子 科目の到達目 必要性を理解す 要な知識や技能 授業方法 対を行い、学生 課題等へのか	とどもの発達と学習を 目標 する とを身につける		カすべきか、その	要 : 1. 実人 『 1. 実人 『 1. 実生・真摯性	件 学修成果と 公柄力 ②多様性・協働性 〇	2. 唐 all 3 知識·技能	(大)	○、小△) 3.確実 (5)主体性・自立性 (回)	実意 生意 生意 力 の 就 業 力 ・ 貢献 力			
本語版の主配は、「無達の研究」の内容を持まえたうえで、子どもの発達と学習をどのように限制すべきか、その 1、「原因」 2、「強盗」 63 (支援を) 2 (支援を)	具体的な方法を 1. 子ど: 2. 子ど: 3. 子ど: 4. 5. 本子 がを用し 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど: 第3回 保育: 第4回 子ど: 第5回 保護: 第6回 保護:	を身につけることでは もの発達と学習についまの発達過程に応じまの発達過程に応じまりできません。 もの育ちや学びを支いた講義を行う。毎日 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	ある。 いて理解する た関わり方の如 えるために必引	えたうえで、子 科目の到達目 必要性を理解す 要な知識や技能 授業方法 対を行い、学生 課題等へのか	とどもの発達と学習を 目標 する とを身につける		カすべきか、その	1・実人・真摯性・真摯性	尽人引力 ②多様性・協働性 〇	2. 唐 all 3 知識·技能	創造」と 知知力 表現力・創造力 ・創造力 ・創造力 ・創造力 ・創造力 ・高に ・高に ・高に ・のののでは、 ・のののでは、 ・ののでは、	3. 確実 実行力 ・ 事実行力 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実意 生意 生意 力 の 就 業 力 ・ 貢献 力			
####################################	具体的な方法を 1. 子ど: 2. 子ど: 3. 子ど: 4. 5. 本子 がを用し 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど: 第3回 保育: 第4回 子ど: 第5回 保護: 第6回 保護:	を身につけることでは もの発達と学習についまの発達過程に応じまの発達過程に応じまりできません。 もの育ちや学びを支いた講義を行う。毎日 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	ある。 いて理解する た関わり方の如 えるために必引	科目の到達目 必要性を理解す 要な知識や技能 授業方法 対を行い、学生 課題等へのか	目標 する とを身につける :の意見をもとにその		カすべきか、その	誠実性・真摯性	人引 ②多様性・協働性 〇	高度 創 ③知識・技能	(知性と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	明実行力・自立性・	意力・一般の表現である。			
1	2. 子ど 3. 子ど 4. 5. スライドを用し 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど 第3回 保育 第4回 子ど 第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別	もの発達過程に応じまの育ちや学びを支いた講義を行う。毎1	た関わり方のぬえるために必引	必要性を理解す 要な知識や技能 授業方法 対を行い、学生 課題等への対	する もを身につける ・ ・ の意見をもとにその	解説を行う。		誠実性・真摯性	多様性・協働性	知識・技能 ○価のの価値を物験を表現します。	表現力・創造力・創造力 ② 方法と割 (30%) (20%) (20%) (50%)	実行力・自立性	就業力・貢献力			
1. 子どもの発達と学覧について理解する	2. 子ど 3. 子ど 4. 5. スライドを用し 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど 第3回 保育 第4回 子ど 第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別	もの発達過程に応じまの育ちや学びを支いた講義を行う。毎1	た関わり方のぬえるために必引	要な知識や技能授業方法対を行い、学生課題等への対	ドを身につける ・ ・ ・ の意見をもとにその	解説を行う。		性・真摯性	性・協働性	・ 技能 で 技績評価の 受講態物 接脚試験 定期試験	カカ・・ 創造断 カカ ⑤ 方法と割 (30%) (20%) (20%) (50%)	力性・自立性	力・貢献力			
2. 子どもの発達過程に応じた同わり方の必要性を理解する 3. 子どもの育ちや字びを支えるために必要な知識や技能を身につける 4. □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	3. 子ど: 4. 5. スライドを用い 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど: 第2回 自己: 第3回 保育(第4回 子ど: 第5回 子ど: 第6回 保護:	もの育ちや学びを支いた講義を行う。毎日	えるために必動	要な知識や技能授業方法対を行い、学生課題等への対	ドを身につける ・ ・ ・ の意見をもとにその	解説を行う。		真 摯 性	協働性	能	創判 造断 カカ の 方法と割 (30%) (20%) (20%)	自 立 性 ©	貢 献 力			
3. 子どもの育ちや学びを支えるために必要な知識や技能を身につける 性 性 力力 性 力	4. 5. スライドを用い 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど: 第3回 保育 第4回 子ど: 第5回 子ど: 第6回 保護: 第7回 特別:	いた講義を行う。毎1	受業で事例検討	授業方法 対を行い、学生 課題等への対	の意見をもとにその	解説を行う。		性	性 O	交講態度 受講態度 提出物 定期試験	カカ ⑤ の方法と割 (30%) (20%) (50%)	也	カ			
5. 技術方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5. スライドを用し 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど: 第3回 保育 第4回 子ど: 第5回 子ど: 第6回 保護: 第7回 特別:	習時に学生へフィー		すを行い、学生 課題等への対	の意見をもとにその	解説を行う。		© .		交講態度 受講態度 提出物 定期試験	o方法と割・ (30%) (20%) (50%)		0			
授業方法 スライドを用いた講義を行う、毎投業で事例検討を行い、学生の意見をもとにその解説を行う。 「課題等への対応 授業外学等時間 参授業内の演習時に学生へフィードバックする。 「職業 授業計画 学習課題(予習・8時間 復習・8時間 をごまばと自己即制 発達の理学における見効児期の復習 第 3回 授業の復習 第 5回 子ども集団における疑験と育ち 期間の授業の復習 期間の授業の復習 第 5回 子ども準備するということ 前回の授業の復習 第 5回 存とも理解するということ 前回の授業の復習 第 5回 禁労への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 第 5回 禁労への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 第 5回 禁労への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 第 5回	スライドを用し 毎授業内の演習 回数 第1回 子ど: 第2回 自己: 第3回 保育(第4回 子ど: 第5回 子ど: 第6回 保護:	習時に学生へフィー		すを行い、学生 課題等への対	の意見をもとにその	解説を行う。			成	受講態度 提出物 定期試験	(30%) (20%) (50%)	合				
天ライドを用いた講義を行う。毎接まで事例検討を行い、学生の意見をもとにその解説を行う。 「提出物(20%) 定期試験(20%) 定期試験(20%) 定期試験(20%) 定期試験(20%) に期談験(20%) に期談験(20%) に期談験(20%) に対した「講義を行う。毎接まで事例検討を行い、学生の意見をもとにその解説を行う。 「学習 (8時間) 「教育 (8時間) 「学習 (8時間) 「第 (8日)	毎授業内の演習 回数 第1回 子ど 第2回 自己 第3回 保育 第4回 子ど 第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別	習時に学生へフィー		すを行い、学生 課題等への対	の意見をもとにその	解説を行う。				提出物定期試験	(20%) (50%)					
及ライドを用いた講義を行う。毎授業で事例検討を行い、学生の意見をもとにその解説を行う。 「提出物(20%) 「提出物(20%) 「提出物(20%) 「提案科学等時間 毎授業内の演習時に学生へフィードパックする。 回数 授業計画 学習課題(予習・意智) 「発達・3時間(復習・3時間) 「学習・意智) 「学習・意智) 「第1回 子どもの発達過程の概要 発達心理学における乳幼児期の復習 第2回 自己主張と自己抑制 発達心理学における乳幼児期の復習 第3回 保育の環境 前回の授業の復習 第4回 子ども集団における経験と育ち 前回の授業の復習 第5回 保護者との情報の共有 前回の授業の復習 第5回 報知な配慮を要する子どもの理解とかかわり 前回の授業の復習 第5回 報学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 第6回 経済への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 第6回 経済への支援を目的とした保育 前回の授業の復習	毎授業内の演習 回数 第1回 子ど 第2回 自己 第3回 保育 第4回 子ど 第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別	習時に学生へフィー		課題等への対		解説を行う。				提出物定期試験	(20%) (50%)					
会投来内の潔習時に学生へフィードバックする。	回数 第1回 子ど 第2回 自己 第3回 保育 第4回 子ど 第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別		ドバックする。		村応					授業外	学修時間					
回数 授業計画 学習課題 (予習・復習) 第 1回 子どもの免達過程の概要 発達心理学における乳幼児期の復習 第 2回 自己主張と自己抑制 発達心理学における乳幼児期の復習 第 3回 保育の環境 前回の授業の復習 第 4回 子ども集団における経験と育ち 前回の授業の復習 第 5回 保護者との情報の共有 前回の授業の復習 第 7回 特別な配慮を要する子どもの理解とかかわり 前回の授業の復習 第 8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習	回数 第1回 子ど 第2回 自己 第3回 保育 第4回 子ど 第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別		ドバックする。			課題等への対応										
第1回 子どもの発達過程の概要 第2回 自己主張と自己抑制 第2回 自己主張と自己抑制 第3回 保育の環境 前回の授業の復習 第4回 子ども集団における経験と育ち 前回の授業の復習 第5回 子どもを理解するということ 前回の授業の復習 第7回 特別な配慮を要する子どもの理解とかかわり 前回の授業の復習 第8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習	第1回 子ど 第2回 自己 第3回 保育 第4回 子ど 第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別	*もの発達過程の概要		毎授業内の演習時に学生へフィードバックする。												
第2回 自己主張と自己抑制 発達心理学における乳幼児期の復習 第3回 保育の環境 前回の授業の復習 第4回 子ども集団における経験と育ち 前回の授業の復習 第5回 子どもを理解するということ 前回の授業の復習 第7回 特別な配慮を要する子どもの理解とかかわり 前回の授業の復習 第8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 前回の授業の復習 第8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前日の授業の復習 前日の授業の表記 第4日の表記 前日の授業の表記 前日の授業の表記 前日の授業の表記 前日の授業の表記 前日の授業の表記 前日の表記 前日の授業の表記 前日の授業の表記 前日の授業の表記 前日の授業の表記 前日の授業の表記 前日の授業の表記 前日の表記 前日の授業の表記 前日の表記	 第2回 自己: 第3回 保育(第4回 子ど: 第5回 子ど: 第6回 保護: 第7回 特別: 	もの発達過程の概要		授業	計画				学習課題(予習・復習)							
第3回 保育の環境 前回の授業の復習 第5回 子ども集団における経験と育ち 前回の授業の復習 第5回 保護者との情報の共有 第7回 特別な配慮を要する子どもの理解とかかわり 前回の授業の復習 第8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 前回の授業の復習 第8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 前回の授業の復習	第3回 保育 第4回 子ど 第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別	子どもの発達過程の概要							発達心理学における乳幼児期の復習							
第4回 子ども集団における経験と育ち 前回の授業の復習 第5回 子どもを理解するということ 前回の授業の復習 前回の授業の復習 第6回 保護者との情報の共有 前回の授業の復習 第7回 特別な配慮を要する子どもの理解とかかわり 前回の授業の復習 第8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 前回の授業の関ロの関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の	第4回 子ど 第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別	主張と自己抑制						発達心理学における乳幼児期の復習								
第5回 子どもを理解するということ 前回の授業の復習 第6回 保護者との情報の共有 前回の授業の復習 第7回 特別な配慮を要する子どもの理解とかかわり 前回の授業の復習 第8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 前回の授業の意図 前回の授業の復習 前回の授業の意図 前回の	第5回 子ど 第6回 保護 第7回 特別:	の環境						前回の授業の復習								
第6回 保護者との情報の共有 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 第8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 前回の授業の表記 は、またままままままままままままままままままままままままままままままままままま	第6回 保護第7回 特別	も集団における経験	と育ち					前回の授	前回の授業の復習							
第7回 特別な配慮を要する子どもの理解とかかわり 前回の授業の復習 第2 本の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	第7回 特別	もを理解するという	こと					前回の授	業の復習							
第8回 就学への支援を目的とした保育 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 前回の授業の復習 意味 定期試験を実施する 受講生への 発達心理学の内容を踏まえ、より発展的な内容を扱います。 子どもが 何を考え、どのように成長していくのか保育場面に応じた 関わりブ		者との情報の共有						前回の授	業の復習							
試験 定期試験を実施する 数科書 授業資料は教員が準備する。 受講生への 発達心理学の内容を踏まえ、より発展的な内容を扱います。 子どもが 何を考え、どのように成長していくのか 保育場面に応じた 関わりガ	第8回 就学	な配慮を要する子ど	もの理解とかれ	かわり				前回の授	業の復習							
数科書 授業資料は教員が準備する。 受講生への 対 の といわれる である といわれる である である である といわれる である である である である である である である である である であ		への支援を目的とし	た保育					前回の授	業の復習							
数科書 授業資料は教員が準備する。 受講生への 対 の といわれる である といわれる である である である といわれる である である である である である である である である である であ																
数科書 授業資料は教員が準備する。 受講生への 対 の といわれる である といわれる である である である といわれる である である である である である である である である である であ																
数科書 授業資料は教員が準備する。 受講生への 対 の といわれる である といわれる である である である といわれる である である である である である である である である である であ																
数科書 授業資料は教員が準備する。 受講生への 対 の といわれる である といわれる である である である といわれる である である である である である である である である である であ																
数科書 授業資料は教員が準備する。 受講生への 対 の といわれる である といわれる である である である といわれる である である である である である である である である である であ																
数科書 授業資料は教員が準備する。 受講生への 対 の といわれる である といわれる である である である といわれる である である である である である である である である である であ																
数科書 授業資料は教員が準備する。 受講生への 対 の といわれる である といわれる である である である といわれる である である である である である である である である である であ								<u> </u>								
教科書 授業資料は教員が準備する。	試験 定期	試験を実施する														
	教科書 授業	授業資料は教員が準備する。 マニュージ 何を考え、と							徒してい	くのか						
①幼稚園教諭												②スクールカウンセラー				
等 (2)科目との 1月月の出来を達について教授する	等 ³						①経験内容	②スクー	ルカウンも							